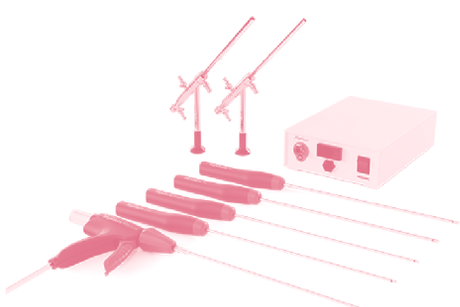
PL病院ニュース
NO.356
2026年11月号
毎月1日発行

子宮筋腫の治療に用いる新しい機器を導入しました

月経量が多い、月経痛がつらい、月経以外の出血がある、または健診や採血で貧血を指摘されたことがある――こうした症状の背景に、子宮筋腫が隠れている場合があります。子宮筋腫は良性の腫瘍ですが、できる場所や大きさによって症状が大きく異なります。特に子宮の内側に向かって飛び出す「粘膜下筋腫」は、比較的小さくても強い症状を引き起こすことがあります。

子宮筋腫の治療には薬物療法から手術までさまざまな方法がありますが、当院ではこれまで子宮鏡を使って子宮の内側から粘膜下筋腫を摘出する治療に取り組んできました。子宮鏡下手術はお腹を切る必要がないため、身体の負担が少ない治療として広くおこなわれています。しかし、筋腫の位置や大きさによっては難しい手術となることもあり、まれに合併症が生じることもありました。

これを少しでも解消し、より安全で患者さまの負担が少ない治療を提供するために、この度HOLOGIC 社の「MyoSure（マイオシュア）」を用いたティッシュリムーバルシステムを採用いたしました。この機器は、子宮の内側にある筋腫やポリープを効率よく除去できるよう設計されており、従来よりも短時間で、子宮の壁を傷つけにくい方法として注目されています。



「MyoSure（マイオシュア）」を用いた
ティッシュリムーバルシステム（HOLOGIC 社）

すでに当院でも数例の治療をおこなっており、いずれも良好な結果が得られています。従来の子宮鏡手術では難しかった症例にも対応できる可能性が広がり、患者さまの選択肢が増えることにつながっています。

子宮筋腫を疑う症状がある方、治療について相談されたい方は、まずはかかりつけ医にご相談のうえ、当院産婦人科を受診してください。初めての方でも安心できるように、丁寧に説明しながら治療方針を一緒に考えてまいります。

PL 病院は、これからも安全で安心できる医療を提供し、地域の皆さまの健康を支える取り組みを続けてまいります。